

# 記入例

児童手当 額改定認定請求書  
額 改 定 届

提出する日（投函日等）

提出年月日	※受付確認年月日
令和 8・3・7	令和 . . .

受給者	(フリガナ) 氏名 (法人名等)	リットウ タロウ <b>栗東 太郎</b>		住所 (法人の主たる事務所の所在地)	〒520 - 3088 <b>栗東市安養寺一丁目13番33号</b> 電話 077 ( 551 ) 0114
	性別	<input checked="" type="radio"/> 男 <input type="radio"/> 女	生年月日	<b>S57 . 1 . 1</b>	加入している 公的年金制度 の種別
	職業	<input checked="" type="radio"/> ア. 被用者 <input type="radio"/> イ. 公務員 <input type="radio"/> ウ. 被用者等でない者			

- ア. 厚生年金保険  
※以下の共済組合の組合員である場合は括弧内に○を記入してください。
- ( ) 私立学校教職員共済
  - ( ) 国家公務員共済
  - ( ) 地方公務員等共済
- イ. 国民年金  
ウ. その他 ( )

厚生年金に加入している会社員の方等→ア. 被用者  
国民年金に加入している方→ウ. 被用者等でない者

**増額** ・ 減額

となる児童

氏名	続柄	生年月日	同居・別居の別	海外留学をしている場合の 出国年月	住所	監護の有無	生計関係	※児童との関係 で、該当する 場合に○印	
高校卒業年代（平成19年4月2日～平成20年4月1日生まれ）の子をご記入ください。			令和8年4月1日時点の状況（見込み）について、住民票上、受給者と同一住所の場合は「同」に○をし、住所欄は「同上」と記入してください。受給者と別住所の場合は「別」に○をし、住所欄には児童の住所地を記入してください。						<input type="checkbox"/> 未成年後見人 <input type="checkbox"/> 父母指定者 <input type="checkbox"/> 同居父母 <input type="checkbox"/> 未成年後見人 <input type="checkbox"/> 父母指定者 <input type="checkbox"/> 同居父母

増額又は減額の原因となる児童の兄弟等  
(18歳に達する日以後の最初の3月31日を経過した後2歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者)

氏名	続柄	生年月日	同居・別居の別	海外留学をしている場合の 出国年月	住所	監護相当の有無	生計費負担の有無
リットウ ハナコ <b>栗東 花子</b>	子	H20・1・1	<input checked="" type="radio"/> 同・別	令和 年 月	<b>同上</b>	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
		. . .	同・別	令和 年 月		有・無	有・無

増額した理由

- ア. 出生  
 イ. その他 ( **多子加算の算定対象とするため** )

「監護相当の有無」…子の面倒を見ている（別居であっても定期的に連絡・面会をしている）場合は「有」  
「生計費負担の有無」…子の食費や学費等、生活費を経済的に負担している場合は「有」  
両方もしくはどちらかが「無」の場合は、多子加算の算定対象にはなりません。

事由の発生した年月日 令和 **8** . **4** . **1**

備考	※認定・改定 期 間 （ 年 月 日 ）	※認定・改定 期 間 （ 年 月 日 ）	※手当月額
	引き続き多子加算を適用するための手続きです。本請求書を提出しても、4月分以降、高校卒業年代の子の手当が支給されるようになるわけではありません。		

- ◎ 裏面の注意をよく読んでから記入してください。
- ◎ ※印の欄は、記入しないでください。
- ◎ 字は、楷書（かいしょ）ではっきり書いて

円  
円